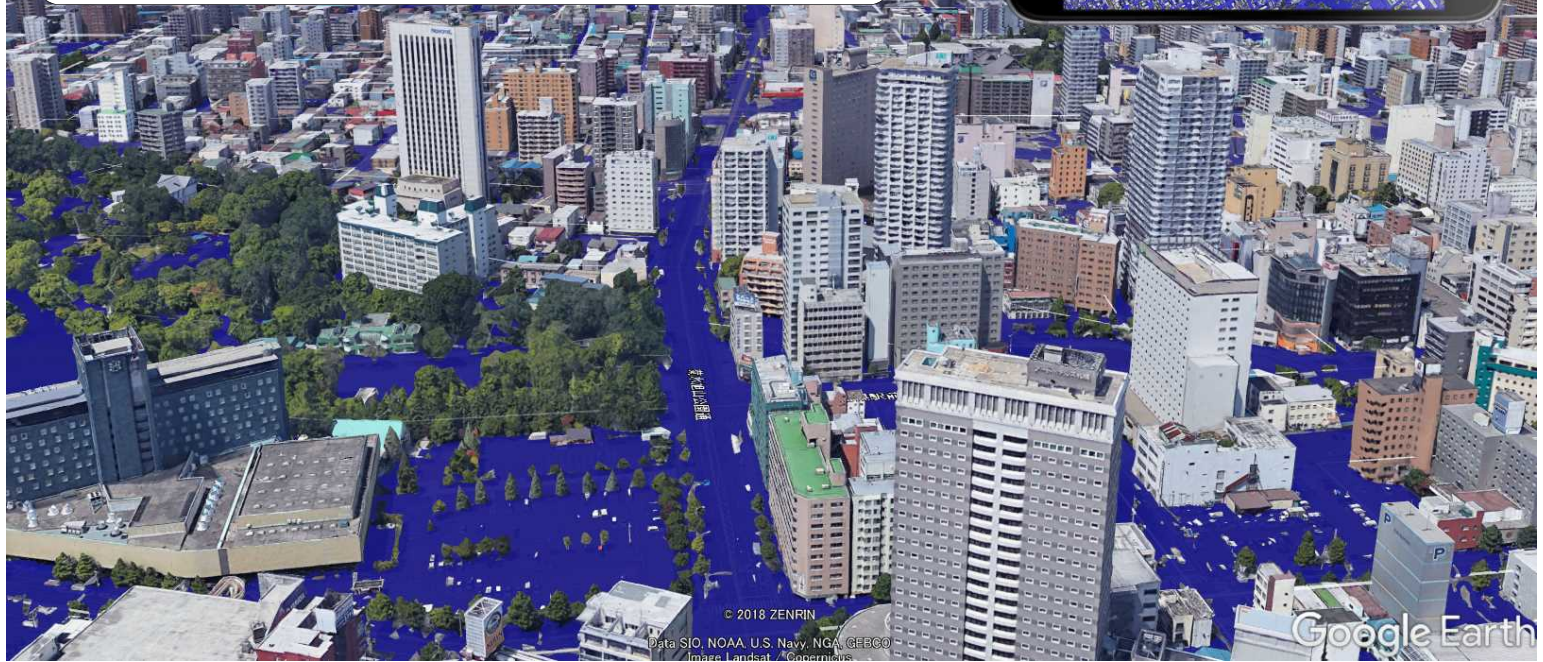


3D浸水ハザードマップ作成技術

研究背景

- 近年、「想定外」や「経験したことが無い」と呼ばれる水害が増加傾向にあります。しかし、住民避難をサポートする洪水ハザードマップの認知度は低い状況にあります。
- そこで、ハザードマップを住民目線のものへと変換するために、Google Earthを活用した「理解しやすく利用しやすいハザードマップ」を提案します。

スマホ + GPS + Google Earth



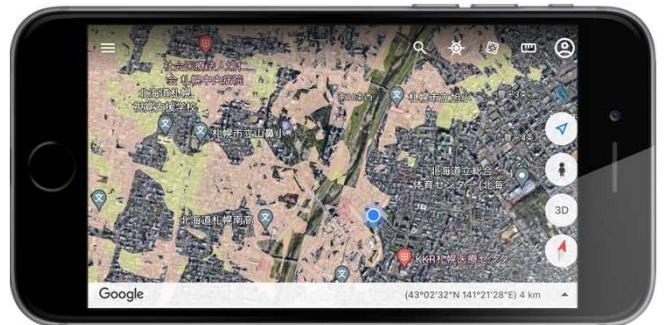
■ 従来のハザードマップの課題

スマホでハザードマップを見た場合・・・



- ✓ 土地勘がない人は自分のいる場所や避難所の位置が理解できない。
- ✓ 外国人旅行者に日本語は理解困難。

■ 3D浸水ハザードマップの特徴



- ✓ 携帯GPS機能で自分の居場所が分かる!
- ✓ Google Earthを用いているため、地図を英語表記できる!

■ ハザードマップを3D表示するメリット

- ・ 視覚的に浸水深を表示し、直感的に理解しやすく・操作しやすいユニバーサルデザインとなっています。
- ・ 防災教育や外国人観光客への災害情報提供にも利用可能です。
- ・ 寒地河川チームHPのマニュアルとGoogle Earthを利用すれば「無料」で作成できます。

マニュアル



表示例 (左図)

